



豊洲で大丈夫？

小池東京都知事は豊洲を市場にする方針を決めたという。

豊洲で大丈夫？

豊洲は元東京ガスの石炭ガス工場。

石炭を高温に熱しガスを発生させる。そのガスのタールやベンゼンを水に吸わせていた。当時は、その水が地面にこぼれるのはありふれたことだった。地下に大量のベンゼンが溜まったのだ。

コンクリートで覆う？

コンクリートで覆うというが、コンクリートには微細な割れ目がある。揮発性のベンゼンは、そこから出て来るのでは？汚染された地下水を汲み上げると云うが、そうしたら周囲から海水がしみ込む。建物の杭等は大丈夫か？

海外の評判は？

福島原発事故以来、福島県や関東地方の農産物について様々な国が輸入を規制している。

豊洲市場の地下のベンゼンに着目されたら、豊洲からの輸入を規制する国が出てくるのではないか？「風評被害対策をする」と云うが、相手は納得するか？

福島原発を見ると

「アンダーコントロール」の筈の福島では原発からは毎日三百トンもの汚染水が発生。

家の周りの山林は除染されておらず立入り出来ない。それでも避難指示解除。

福島でこんなやり方をしていて、豊洲のベンゼンは大丈夫と云って信用されるだろうか？ 皆さんはどう思われますか？



メキシコ船漂着の浜

千葉県夷隅郡御宿町岩和田田尻浜
二〇一七年六月

平らなゆつたりとした九十九里浜。その南には対照的に岬や入り江が入り組む。その入り江の一つが、この田尻浜。

一六〇九年、江戸幕府が出来て間もない頃のこと。フィリピン総督のドン・ロドリゴはメキシコのアカプルコに向けて帰る途中、難破。この田尻浜に漂着。

その時、御宿の人々が全力を挙げて遭難者を救助。御宿の海女は裸になって、凍える遭難者を温めたという。その結果、三七三人乗り組みの内、三十七人が助かった。

日本では鎖国により、この事実は忘れられていた。それが、明治になってヨーロッパ側から知らされている。

メキシコ大統領がここを訪れたりして、メキシコと御宿の交流が深まっている。

